平成30年10月11日
208・209会議室

平成30年第19回
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成30年第19回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成30年10月11日(木)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 3時10分

2 場 所 208・209会議室

3 出席者

教育長 小町 邦彦

教育委員 松野 登 田中 健一

伊藤 憲春 佐伯 雅斗

署名委員 佐伯 雅斗

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 栗原 寛

教育総務課長 庄司 康洋

学務課長 浅見 孝男

指導課長 小瀬 和彦

統括指導主事 森保 亮

学校給食課長 南 彰彦

生涯学習推進センター長 五十嵐 誠

図書館長 池田 朋之

指導主事 加藤 寛之

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 西上 大助 井田 容子

案 件

1 議案

(1) 議案第26号 立川市教育委員会表彰について

2 報告

(1) 平成30年第3回立川市議会定例会報告について

(2) 平成30年度「立川市・大町市姉妹都市中学生サミット」の授業活用について

3 その他

平成30年第19回立川市教育委員会定例会議事日程

平成30年10月11日

208・209会議室

1 議案

(1) 議案第26号 立川市教育委員会表彰について

2 報告

(1) 平成30年第3回立川市議会定例会報告について

(2) 平成30年度「立川市・大町市姉妹都市中学生サミット」の授業活用について

3 その他

◎開会の辞

○小町教育長 ただいまから、平成30年第19回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に佐伯委員、お願いいたします。

○佐伯委員 はい。承知いたしました。

○小町教育長 次に、議事内容の確認を行います。本日は、議案1件、報告2件でございます。

その他は議事進行過程で確認いたします。

次に、出席者の確認を行います。栗原教育部長、お願いいたします。

○栗原教育部長 本日の第19回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございますが、教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、森保統括指導主事、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長でございます。

◎議 案

(1) 議案第26号 立川市教育委員会表彰について

○小町教育長 それでは、1議案(1)議案第26号、立川市教育委員会表彰について、を議題といたします。

庄司教育総務課長、説明をお願いいたします。

○庄司教育総務課長 それでは、議案第26号、立川市教育委員会表彰について、ご説明いたします。

本議案につきましては、立川市教育委員会表彰規程に基づき教育委員会表彰を行うものでございます。

別紙1をご覧ください。平成30年度立川市教育委員会表彰の該当者一覧でございます。

別紙1につきましては、表彰規程第1条第1号、立川市立学校の教員が対象になります。

該当者2人を説明いたします。敬称は略させていただきます。

第六小学校、溝越勇太。平成27年度より「立川市民科」を実施しておりますが、校内研究を通じて具体的な展開を示しました。市内にある2軒の銭湯を教材として研究を進めることにより、全国の銭湯を盛り上げる活動に貢献いたしました。

上砂川小学校、山崎光弘でございます。ICT機器を活用したプログラミング教育に熱心に取り組み、体育科の教材研究を精力的に継続し、毎年研究授業を行って、授業力向上に努めました。また、研修会に進んで参加し、学んだことを日々の授業に活かしました。休み時間や放課後を含め、児童と一緒に過ごす時間を多く取り、児童一人一人の理解に努めてまいりました。児童の努力した点、成長の跡を評価し、学級だより等で積極的に発信いたしました。このような理由でございます。

続きまして別紙2でございます。

別紙2につきましては、表彰規程第2条第3号、立川市立学校の児童・生徒が対象になり

ます。該当者を順次、説明いたします。敬称は略させていただきます。

1人目、立川第四中学校、島村涼太。第45回全日本中学校陸上競技選手権大会、棒高跳 出場でございます。

2人目、立川第五中学校、高野倉真央。第26回全国中学生空手道選手権大会、女子個人組手、第5位でございます。

3人目、立川第六中学校、小林龍生。第58回全国中学校水泳競技大会、男子100m自由形、第6位でございます。

4人目、立川第七中学校、脇川颯太。第42回関東中学校水泳競技大会、男子100m背泳ぎ、第5位でございます、

5人目、立川第七中学校、高原一希。第46回関東中学校陸上競技大会、男子1年 走幅跳、第1位でございます。

6件目、第26回全国中学生空手道選手権大会、これは4人の方が該当いたします。立川第八中学校、赤羽優悟、田村翔、夜久修斗、上田大生。男子団体形、第5位でございます。

続きまして別紙3をご覧ください。

別紙3におきましては、表彰規程の第3条第2号、体育その他の文化活動において特に優秀な成績をあげたもの、ということございまして先ほどご案内しました第2条以外の方、市内にお住まいであるとか、在勤・在学の方を対象としております。同様に敬称は略させていただきます。

1人目、東京学芸大学附属小金井小学校、岡部那由多。第8回日本バツハコンクール全国大会、小学校3・4年 B部門、金賞及びベスト賞でございます。

2人目、東京学芸大学附属小金井小学校、荒川桐真。第71回全日本学生音楽コンクール全国大会、バイオリン部門 小学校の部、第3位でございます。

3人目、筑波大学附属駒場高等学校、小宮晨一。第7回科学の甲子園全国大会、総合成績第3位でございます。

4人目、第四小学校教諭、佐川公太。WFDF2018世界アルティメットクラブチーム選手権大会、世界大会 第6位でございます。

以上の方でございます。

本日この議案をお認めいただきましたら、早速ご本人に通知をさせていただきます。

なお、表彰式は例年どおり11月3日ということで行っております。昨年度はR I S U R Uホールで表彰式を行いました、今年はこちらの本庁舎で表彰式を行いたいと思っております。以上、ご審議をよろしくお願いいたします。

○小町教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員

○田中委員 今ご説明いただいた中で1件目ですけれども、立川市教育委員会表彰規程第1条第1号の規程に基づいて該当された先生方の一人である第六小学校の溝越勇太先生、私もよ

く出版されたもの含めて拝見させていただいているわけですが、当市の教育委員会の重要課題である「立川市民科」に優れた実践を示されております。改めて各学校の模範となる方だなということで本当にうれしく思います。

もうお一方の先生、上砂川小学校の山崎光弘先生については、今期の学習指導要領で重視され、かつ当市の重要課題であるプログラミング教育のもとに、教科指導、児童指導、課題への取組状況は本当に優れたものがあります。これまで授業等拝見していて、それを強く実感いたしました。したがいまして、この機会に是非、立川市教育委員会表彰をよろしくお願い申し上げます。

あと2点目ですけれども、立川市教育委員会表彰規程第2条第3号の規程に基づいて該当された6つの中学校の9名の生徒さん、体育の全国大会、関東大会での成績は顕著なものがあります。本当にうれしいです。したがいまして、立川市教育委員会表彰規程に基づいて承認をされますよう、よろしく願いいたします。

最後でございます。立川市教育委員会表彰規程第3条第2号の規程に基づいて該当された3人の児童生徒の皆さん及び1名の先生については、全国大会そして世界大会での体育や文化活動での成績は顕著なものがあります。後に続く児童生徒及び教員の模範であるとお思っております。この機会に立川市教育委員会表彰についての承認をされますよう、よろしく願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。松野委員。

○松野委員 こういう頑張った成果が認められる、とても大事なことで、私も、田中委員が今おっしゃっていましたが、大賛成であります。

さて問題は、私はもっとこの成果をみんなに広げ、共有し、そして次へのエネルギーにできないか。特に一番初めの、業務上の成績が特に優秀なもの、私も第六小学校の市民科の実践を拝見いたしました。なかなか単元構成が見事です。それから次のプログラミング教育についての山崎先生の視点、立小研か、あるいはどこかそういうところで発表する場がもしもてるなら、先生方、学校に対していい刺激を与えていくことになるのではないかと。

それから、次の子どもたちの成果についても、ただ紹介だけではなくて、前回も言いましたが、映像か何かで紹介できるといいですねという話をしましたが、要するに、ただ「賞をとりました」、「こういうことがありました」ではなくて、頑張っている様子を伝えていきたい、共有していきたい、こういう気持ちがあります。先生方のほうは、発表会ができる可能性があるなら、指導課長、いかがでしょうか。そういうチャンスはないでしょうか。

○小町教育長 小瀬指導課長。

○小瀬指導課長 今、松野委員のご提案をいただきましたので、前向きに検討したいと思えます。もう一言だけ、実は優秀な教員、もっといます。10本の指、入らないです。20本、30本、私が見ていても非常に優れている。彼らと同等程度、推薦だから載せましたが、本当はまだまだ2、30人推薦したいと思っています。

○小町教育長 ほか、ございますか。佐伯委員。

○佐伯委員 今、両委員からお話がありましたので本当にそのとおりでなと思っていますが、市内の中学生のこういった功績は、本当は小学校のうちから、中学へ行ったらこういうものを目指して頑張りたいなど、教育委員会表彰を受けたいと思えるような形で、小学校の子どもたちに中学校にこんなすばらしい先輩たちがいるのだよと伝わるような何かないかなといつも思っておりますので、是非、彼らのことを広く立川市民に披露していただけたらなと思います。よろしく願いいたします。

○小町教育長 では私からも。表彰規程に則ってということでございまして、これ以外にも吹奏楽であるとか様々な大会で、子どもたちが課外活動をしております。そんな子どもたちを目標にということで、それに続いて頑張ってもらいたいという思いで私もいっぱいございまして。きょうご提案がございました教員の表彰をして、立小研、立中研含めて教員研修の中でご紹介していく、とてもいいご提案だと思いますので、これは担当とも相談させていただきたいと思います。

あと映像をというお話がありまして、私もいろいろなスポーツ、馴染のないスポーツも実はございまして、もし写真が1枚でも2枚でもあるとイメージがわかりやすいし、肖像権の関係があるので、公開しては困るという方は別ですけれども、ご許可いただけるのであれば、そういうものも併せて表彰式のときに紹介する、そんなことも考えたいと思いますし、ホームページ含めてそういう映像を取り入れることができれば、よりそれぞれの分野で活躍された中身が立体的にご理解いただけるかなと私もお伺いして思った次第でございまして。今回、間に合うかどうかありますけれども、次回ということもございまして、表彰該当者にお尋ねして、もし許可いただけるのであれば早速取り入れていきたいと思っている次第でございまして。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございまして。

お諮りいたします。議案第26号、立川市教育委員会表彰について、は提案のとおり承認することに異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○小町教育長 異議なしと認めます。よって、議案第26号、立川市教育委員会表彰について、は承認されました。

◎報 告

(1) 平成30年第3回立川市議会定例会報告について

○小町教育長 続きまして、2報告(1)平成30年第3回立川市議会定例会報告について、を議題といたします。

栗原教育部長、報告をお願いいたします。

○栗原教育部長 それでは、平成30年第3回立川市議会定例会の報告をいたします。

資料の1ページでございます。

議会日程でございますが、平成30年9月4日から10月1日までとなります。

別紙に議会の日程表がございます。資料1ですので3ページとなりますので、詳しくはそちらをご参照ください。

続きまして一般質問でございますが、9月4日～9月7日までの4日間行われました。

全体で22人の議員から一般質問が出されました。質問の件名等につきましては別紙の一般質問順序表、これが資料の4ページから13ページとなりますが、ご参照ください。

それでは、教育に関する主だった質問及び答弁内容について、ご説明をいたします。

受理番号2番、頭山太郎議員でございます。

2 酷暑・豪雨への対策について、その中の②保育施設・学校での対応についてということでご質問をいただきました。主に学校に対しては暑さの対策についてのご質問でございますが、現在の普通教室また特別教室への空調機の設置の状況、また、高温注意情報が発表された場合に、対応等についてご説明をしたところでございます。

3 危険なブロック塀等への対策について、①通学路への対応についてということで、ここでは私どもが6月から7月にかけて学校のブロック塀の調査をしたことについてご説明をいたしました。その中に特に法令に不適合のブロック塀で不特定多数の方が通る道路に面しているもの、または法令に適合はしているけれども劣化等があるブロック塀で、やはり不特定多数の方が通る所、そういった所をまず優先的に改修をするということ、そういったことをご答弁申し上げました。

受理番号3番、わたなべ忠司議員でございます。

1 放課後の子どもの居場所づくり施策について、②放課後子ども教室の運用状況と学童保育との連携ということで、特に放課後の子どもの居場所について、学校の教室の利用についてということでご質問いただきましたが、一定のルールを定めた上で活用することは可能ではないかということでご答弁を申し上げました。

受理番号4番、瀬 順弘議員でございます。

1 防災の取り組みについて、その中①ブロック塀の状況と対策について、ここでは既にこの議会の前まで対応した状況等についてご説明をしたところでございます。

受理番号6番、門倉正子議員でございます。

1 平和事業について、①平和派遣事業の取り組みについてということで、今回初めて中学生9人を広島に派遣をしたわけでございますが、その目的、参加者、視察の内容、概要等を説明いたしました。②の平和教育の取り組みについては、学習指導要領に基づいて実施している項目について説明をいたしました。③平和の尊さを後世に伝えるためということで、今回の派遣事業についてこの報告活動を行うこと、そしてそれをもとに今後、実施方法について検討するという事を申し上げたところでございます。

2 子どもたちの健やかな成長のためということで、②不登校児童・生徒への対応について、これは不登校についての現状、対応等についてご答弁申し上げました。特に対応につい

ては、演劇表現を用いたコミュニケーション能力講座の実施であるとか、学級経営研修の実施、また学級カスタンダードの開発・活用についてご説明したところでございます。

受理番号7番、若木早苗議員でございます。

4 砂川地域のまちづくりについて、②砂川学習館について、ご質問いただきました。この中ではこれから公共施設再編個別計画が策定されますが、その後にはいろいろ改修等の問題がございますが、課題を含めた施設全体のことについて検討するというところでご答弁申し上げました。

受理番号8番、松本マキ議員でございます。

2 部活動及び地域のスポーツ振興について、①引退したアスリートの活躍やコーチングの重要性ということで、まず今年度、26名の部活動指導員を主として採用したこと、また、アスリート等の活用については大変に意義があることだということ、オリンピック・パラリンピックの派遣事業を学校で実施するほか、本市では近隣に東京女子体育大学がございますので、その辺の連携事業についても答弁を申し上げたところでございます。

受理番号9番、桑川敏男議員でございます。

1 若葉台小学校について、②で第一小学校と若葉台小学校のことについて、効果ということで質問をいただきました。特に若葉台小学校は第一小学校のようにオープンスペースを設置するとともに、従来よりも広い教室空間としたこと、読み聞かせに利用できるような空間であるパオと呼ばれる小空間を教室内に設けたことなど、現段階での設計上の特徴をご答弁申し上げました。③のところでは桜の木の苗木の植樹についてのご質問でございますが、これについては今後検討していきたいということでご答弁申し上げました。

2 通学路の安全確保についてでございます。これについてはブロック塀のことでございますが、特に若葉台小学校の不適合のブロック塀について、平成30年度に改修したもの、また31年度の予算の中で対応するものということでご答弁を申し上げました。

③の若葉台小学校における通学路の安全確保についてでございますが、今後も通学路安全対策検討委員会を開催して意見を伺って、対策を検討してまいりたいと思っています。地域と連携しながら安全確保するというところもご答弁申し上げました。

受理番号11番、伊藤幸秀議員でございます。

4 子育て支援について、その中の②子どものスマホの利用についてということで、教育長からは学校教育の危機だということでのご答弁を申し上げ、教育委員会としても非常にこれは大きな課題であることの認識をお話したところでございます。携帯電話の所持率であるとか、またスマホ等の利用の実態等をご説明した後に、現在、学校や家庭等で行っている対応等についてご説明をしたところでございます。

受理番号12番、伊藤大輔議員でございます。

1 特別支援教育の充実の中の①ディスレクシアの現状把握と学習への取り組みということで、ディスレクシアというのは文字の読み書きに限定した困難さをもつ疾患のことです。この中では実数及び経年の変化は教育委員会としては把握しておりませんが、読み書

きの課題が顕著に表れている児童が一定数はいるものと認識をしていることをご答弁申し上げ、また②IT機器の有効活用と特別支援教育への拡充については、ICTの活用が学習指導に効果的であるという結果が報告書において発表されていること、今後は通級指導学級や特別支援教室へのタブレットの配備については検討をしていきたいということをご答弁申し上げます。

受理番号13番、江口元気議員でございます。

2 暑さ対策について、その中の②学校の冷房設置状況についてでございます。現在の特別教室の未設置の教室についてご説明をいたしました。また③の体育施設の冷房設置状況については、学校の屋内体育施設については一小のみがこういった設備がついているということをご答弁申し上げます。

4の広域連携について、②現在の取り組みにということで、9市サミットで取り組んでいること、これは総合政策部からご答弁申し上げますが、図書館の相互利用につきまして、日野、福生、小平、まだこの3市との連携はしておりませんが、今話がかかなり進んでいるということをご答弁申し上げます。

受理番号15番、上條彰一議員でございます。

1 中学校給食の一日も早い実現について、その①学校給食の目的や今日的役割について、学校給食法に基づき学校給食を行っているということ、栄養バランスのとれた食事を提供することにより健康増進を図り、食事についての正しい理解と望ましい食習慣を養うことなどを目的に実施していること、重要な役割を担っていること等についてご説明をいたしました。

②基地跡地を調理場用地とすることのリスクについてということで、今議会で新たな学校給食共同調理場の用地については、現在の学校給食共同調理場の東側を候補地ということで、こちらの中でご答弁をしたところでございます。ここについては市の中心部にございまして、2時間以内で対象となる単独調理校8校、中学校9校に配送ができるということで適切な場所であると考えているところでございます。現学校給食共同調理場につきましても整備の段階で基準値以上の鉛が検出されていますが、仮に新たな用地についても土壌検査の結果、出た場合には土壌汚染対策をするということ、これについては財務省と協議をするということをご答弁申し上げます。

③のきめ細やかな調理についてでございます。現在の共同調理場のリクエスト給食等についてご答弁を申し上げます。

④のアレルギー対応について、本市において中学校給食への対応等、学校給食衛生管理基準に沿った施設整備及びアレルギー対応の面から、共同調理方式に移行することが望ましいことを学校給食共同調理場の新設に係る方針で示していること等についてご説明しました。

⑤地元食材の活用については、平成29年度の地元野菜の使用率についてご答弁を申し上げます。⑥市の「方針」の抜本的な見直しについてでございますが、主に説明会の実施時期等についてご説明をしたところでございます。

2 ブロック塀等の倒壊対策についてでございます。これについては先の議員から質問があ

ったとおり優先順位をつけて実施するというごさいます。②の公共施設のブロック塀等の改修の見通しについて、これについても今年度で実施するもの、31年度の当初予算等で実施するものということでご答弁を申し上げました。

受理番号17番、高口靖彦議員でごさいます。

3 子どもたちが健やかに育ちゆくためにということ、①登下校時等の荷物の重さについて、これも議会のときでごさいます。文部科学省から通知が出ておりまして、それを学校に通知をして、学校のほうでも適切に対応しているということでご答弁申し上げました。

②の子どもの熱中症・紫外線対策ということ、今年は特に暑い日が多く続いています、健康被害の報告はないということでご答弁を申し上げました。

③教委職員、これは教育委員会の職員のごさいます。学校体験についてということでごさいます、熊本市の事例がこのようなことがごさいます、校長会においても調査しつつ研究を進めるということをご答弁申し上げました。

⑤福井県の学力向上の取り組みから、学ぶべきことについてということ、特にここは教員が全ての学年を受け持つ、いわゆるかけもちということでごさいます。これにつきましてもメリット、デメリットを分析した上で、また他市や都、全体の動向を捉えて必要に応じて学校に情報提供を行うということ、ご答弁申し上げました。

⑥書道用紙のリサイクルについて、これにつきましては横浜市等が実施しているという情報を掴んでおりますが、検討課題としていきたいということでご答弁申し上げました。

受理番号18番、木原 宏議員でごさいます。

1 発達支援についてということ、特別支援教室キラリの取組状況等についてごさいます、ここで、30年で全ての小学校にキラリが設置された。その中で第2次特別支援教育実施計画については順調に進んでいるということ、それ等についてご答弁申し上げました。

③発達支援の今後の取り組みということ、この中では特に自閉症、情緒障害、特別支援学級いわゆる固定級の 신설についての検討課題についてご質問いただきました。近年特に、本来は情緒障害の固定学級の就学が望ましいとの所見をいただくケースが散見されており、そのことを踏まえて検討するという、その辺をご答弁したところでごさいます。

一般質問の質問及び答弁の概要は以上となります。

再び1ページへお戻りください。

3 請願・陳情の付託、議案審議、決算特別委員会設置・付託でごさいます、9月10日に市長より平成29年度の決算の提案の説明を行い、それを踏まえて1人の議員から決算の総括質問があり、この日に決算特別委員会を設置することが決まりました。

それを踏まえて決算特別委員会が9月12日から9月18日までの4日間開催されまして、審議が行われました。教育費につきましては9月18日に審議が行われました。主だった質問についてご説明をいたします。

教育部に対する質問は全員で13人の方からいただきました。

主だったものを説明しますと、中学校給食の喫食率について、小学校の施設改修事業の執

行率、八ヶ岳山荘の見直し方針について、ネットワーク型の学校経営について、学校支援ボランティアについて、不登校の状況と対応について、いじめの認知件数が多い理由について、子どもの読書活動について、八ヶ岳山荘の災害時の備えについて、学校施設の改修について、学校給食共同調理場の方針について、各種支援員を学校支援員へ統合したことについて、楽器の点検について、教員の働き方改革について、学校でのNHK受信料の内訳について、新聞を教材として使用することについて、立川市民科の取組、幼保・小中の連携について、科学教育センター事業について、単独調理校の一食当たりの費用について、スクールソーシャルワーカーについて、情緒障害等の固定級の設置について、児童生徒が全国大会に出場した場合の交通費の問題、学校ホームページ、このような形でご質問をいただきまして、その中で平成29年度の事業取組等についてご質問いただき、ご説明をしたところでございます。

続きまして文教委員会でございます。9月26日水曜日に実施いたしました。

資料の14ページをお開きください。

今回は、文教委員会に付託されました議案・請願・陳情等はございませんでした。

2報告事項から入ったわけでございますが、今年度、第五小学校の大規模改修工事を行いましたので、午前中は文教委員の皆様は第五小学校を視察していただきました。そして戻りまして午後から、全体で11件の報告を行ったところでございます。

報告内容につきましては、こちらに書いてあるとおりでございます。

1番、総合教育会議につきましては、ここで取り上げた3つの議題については、それぞれ教育への報告事項に含まれておりますので、その中で質疑をしたところでございます。

2番、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書については、教育委員会で協議をしていただきまして報告した内容でございますが、その中では防犯カメラ、道徳教育、家庭学習のリーフレット、読書結果等についてご質問いただきました。

3番、第五小学校の大規模改修工事につきましては、実際に視察をした中でご意見等伺ったところです。

4番、学校におけるブロック塀の点検結果及び今後の対応について、これ一般質問でも多くいただいたところでございます。全てを今年度対応するかということのご質問をいただきましたが、これは31年度含めて対応するというところでございます。

5番、小中学校既存スラブ厚調査結果については、多くの議員からご質問いただきました。主だったものにつきましては、13校の調査をしたけれど、それ以外の学校はということでご質問いただきましたが、まずは13校優先して対応するというところでご答弁申し上げました。また、根拠を示して安全性を説明すべきということで、これについては専門家の意見を聞いて対応するというところでございます。また、業者責任はないのかということで瑕疵担保責任に対する質疑も行われたところでございます。

6番、若葉台小学校についてでございますが、これは旧けやき台小学校の解体説明会の答弁についてご質問をいただいたところでございます。

7番、学力向上推進・新規事業の具体的展開について、特に地域未来塾・スタディアシス

ト事業について説明をしたところでございます。

8番、立川市立中学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択についてでございますが、これにつきましては教科書の閲覧等についてご意見をいただいたところでございます。

9番、特別支援教室キラリにつきましては、特段、ご意見、ご質問はございませんでした。

10番、学校給食共同調理場の新設につきましても多くの委員からご質問いただきました。運営方法、スケジュール、また、現在の中学の給食の喫食率についても挙げていただきたいということ、保護者への説明会、パブリックコメント等について、ご意見、ご質問をいただきました。

11番、立川市中学生平和学習派遣事業については、報告等について今後どのように行っていくのかということで教育フォーラム等の活用ということ、また、各学校または校区の小学校についても検討しているということをご答弁申し上げました。

文教委員会の説明は以上でございます。

また1ページにお戻りください。

議案審議、委員会審査意見報告、継続審査要求等、議会最終日、10月1日でございます。この中では議案、請願、陳情等の採決が行われました。

また、一般会計及び6つの特別会計の決算について、全てが認定ということで、そういったご審査をいただいたところでございます。

教育部では議案3本ございました。議案94号、95号、96号でございますが、これは五小の大規模改修のそれぞれ建築、機械設備、電気設備の変更契約ということで、内容は不可視部分での設計変更が必要なものについて契約を変更するというものでございます。これにつきましては承認をいただいたところでございます。

2ページをお開きください。

補正予算でございます。補正は2回に分けてご提案をしたところでございます。

9月10日につきましては、校地の借上料、また第五小学校の大規模改修工事、これは先ほどの契約変更にも伴うものでございます。この2つ。

10月1日最終日につきましては、床スラブ補強工事の設計、小学校3校でございます。それとブロック塀の改修について、小学校4校、中学校4校。それと第七小学校大規模改修工事の設計につきましては今年度進めているところですが、これについても床スラブの補強について新たに設計を追加しましたので、これを補正予算で提案したところでございます。

最後、下のところのアスタリスクでございますが、このほか債務負担行為として「新学校給食共同調理場整備運営事業化調査等委託」について、平成31年度にかけて委託調査を行うということで補正の提案を行ったところでございます。これにつきましては、補正予算は期間のご承認をいただいたところでございます。

以上で議会の報告を終ります。

○小町教育長 報告ありがとうございました。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、松野委員、

○松野委員 まず質問ですけれども、ここでずいぶん話題になっていたスラブ厚の問題、これについてはどのようなお答えになったのでしょうか。

○小町教育長 庄司教育総務課長。

○庄司教育総務課長 スラブ厚に関しては、所管の文教委員会でも、一般質問でもそのような質問が多かったです。まず、子どもの安全性が担保できるのかどうかというところが一番です。それと市民への周知をどうやっていくのか。あと、先ほど部長が説明いたしましたけれども、今度どういう形で進めていくのか、13校含めてということでございます。そこに集約されるかなと思います。その他、業者の責任です。昭和37年から40年にかけて行った業者の責任というところであるとかそういったこと、やはり議員の皆様の考え方がございますので、内容としてはそのような質問が様々議員さんからいただきまして、お答えをさせていただきました。

それを受けまして、市民の皆さんへの周知ということでございますが、ホームページで詳細に、質問の答えができるようにQ&A含めてホームページに今掲載してございます。各13校のスラブ厚の状況、併せて今後の立川市教育委員会の考え方含めてQ&A方式で掲出してございますので、そちらでも私どもの考え方が分かるようにしております。

○小町教育長 栗原教育部長。

○栗原教育部長 実際の対応等につきましては、まず第五小学校につきましては今回の大規模改修の中で、工期も延伸して問題のあった所については鉄骨小梁を入れて補強するという工事を行って、これは終了しております。

今年度、南砂小学校の校舎が大規模改修工事に入ります。南砂小学校についても幾つかスラブ厚不足の所が見つかっておりますので、新たにこれにつきましては補強を含めて対応は行っていく予定でございます。

また来年度、第七小学校につきましても校舎と体育館の改修を予定しておりますが、これにつきましては設計段階で調査をしておりますので、そういった中で来年度、大規模改修の中で補強するということです。

大規模改修を行う学校につきましては、児童が仮設校舎に移りますので、その間、天井材を剥がして全て対応できるということですが、その他の学校については、居ながら工事をしなければいけないということがございます。その中で施設を担当している部署からは、もしそのようなことでやるのであれば、1校で1年間に夏休みしか工事としてはできないと考えておりますので、最大でも20枚のスラブしか補強ができないということが言われております。これは最大でということでございます。

そういったことを受けた中で、今回、補正でも3校の設計を出しているところでございますが、これが九小、六小、八小の3校、いずれも大規模改修工事をやったところにつきましては、20枚以下の枚数でありますので単年度である程度できるだろうというところで、これは先行してやるということでございます。

他の学校につきましては、かなり枚数が多くて、もし20枚ということでも4年、5年かかってしまうところがある。それはとても、4年、5年かけてやるのは教育のほうにも支障が生じるだろうということで、これについては検討を始めているところでございます。その上で、工事報告含めて、どのようなことが実施できるかを考えている最中でございます。

それと、一番は天井、床、それが落ちるのではないかとという不安が保護者、もちろん学校関係者にもあると思いますが、それにつきましてはスラブ厚が薄くてもその中には鉄筋が配筋されている。その鉄筋自体が梁につながっているということで、それがドスンと一枚のものが落ちるといことは考えにくいといことは施設部門でも話を伺っておりますので、まずその部分は、恐れはないといことはお知らせをしているところでございます。今後また、学校を通じて保護者等にもそういったご案内等はする予定でございます。

○小町教育長 松野委員。

○松野委員 質問の内容を聞いておりますと本当に多岐にわたりますね。教育の内容もそうですが、子どもたちの安心・安全に関わる環境の整備や予算、行政に直接関わるような問題もありました。質問、あるいは答弁しながら、これから立川市の教育施策に反映すべき課題、やっていかなければいけない課題、例えばどういう点が一番重要だなどお感じになりましたか。感想を聞かせていただければ大変ありがたいと思います。

○小町教育長 栗原教育部長。

○栗原教育部長 これは一般質問や文教委員会の中でも、今、松野委員のおっしゃったようなご質問とかご意見がありました。教育長からは、学校というのは安全が一番だ、そのことを念頭に据えた中で対応を図るということ、そこに尽きるのではないかと考えているところでございます。

○小町教育長 松野委員。

○松野委員 ありがとうございます。

○小町教育長 ほか、ございますか。田中委員。

○田中委員 私からは、一般質問について、議員の方から貴重な質問をいただいて、それに対して丁寧な回答をされたということ、本当に感謝申し上げます。

その上で私のほうから、3点お伺いしたいと思います。

1点目、受理番号6番の門倉正子議員の質問に対しての回答を受けて、今後、平和教育の充実から提言をしたいと思っております。

立川市は、昭和44年3月27日に「世界連邦平和都市宣言」を出されています。その上で平成4年3月27日に「立川市平和都市宣言」が採択されております。したがって、これらを受けながら教育委員会としては、学習指導要領に基づいて小中学校ともに平和教育の充実に努めているわけです。このたびの平和事業の一環として平和派遣事業の取り組みをされたことは大事なことであり、私は思っております。

その上で提言を3点ほど申し上げます。提言としては、日程について、このたびは1泊2日で実施されましたが、できれば次年度から予算を確保して2泊3日でもう少し余裕をもつ

て丁寧に対応したらどうかということが1点です。2点目は、次年度から予算を確保してさらに充実させてはどうかということでございます。最後ですが、今後も継続して、8月6日に実施はできないかという提言でございます。これについてはどうお考えになっているか、後ほどまたお話を伺えればと思います。

同じ門倉正子議員からの質問として、不登校の児童・生徒への対応でございます。これについては教育委員会としては、演劇表現によるコミュニケーション能力講座の実施、学級経営研修の充実、立川学級力スタンダードの開発・活用、この3点を回答されています。

その上で私としては今後検討する必要があるのかなと思いますが、1つは、児童生徒理解と活用から、保護者の同意を得て科学的な観点から、ウェクスラー式知能検査Ⅳを実施して、活用してはどうかという提言でございます。ご承知のように、この検査については約70年の歴史をもっておりますし、総合的な能力の指標だけでなく、言語理解、知覚推理、ワーキングメモリ、処理速度の4つの指標が科学的に把握されるものでございます。この結果を受けて、保護者、学校が共有して多面的な児童生徒の理解と指導に役立てて、不登校の対応に資してはどうかということでございます。

その上で、不登校児童生徒の個別の教育支援計画と個別指導計画を一緒にしたもので、シンプルな計画を作成したらどうか。それを受けて教育委員会、学校、スクールソーシャルワーカーなどの協力を受けながら、児童生徒の不登校の課題に対応してはいかがでしょうかということでございます。これについても後ほどお伺いできればと思います。

次に2点目でございます。受理番号11、伊藤幸秀議員の質問として「子どものスマホの利用について」、これを受けて現状と課題、教育委員会や各学校の取組が回答されています。

そこで質問として、家庭ルールやSNS学校ルールが徹底されていると思いますけれども、現状はどうなっておりますか、というのが質問でございます。

あと提言としては、自らを守る家庭ルールやSNS学校ルールの主体的な取組とともに、上手なスマートホンなどを学習効果にどう活用するかも重要な観点ではないかという提言でございます。例えば、ネット検索や辞書の利用、読書や学習課題に対する動画の閲覧等、今後、IT社会に生きるために子どものスマートホンの規制とともに、併せて有効活用を図ってはどうかという提言でございます。これについても後ほど説明いただければありがたいと思います。

3点目は、受理番号18、木原宏議員の質問、「特別支援教室キラリの取組状況について」ということで、回答で、近年特に「本来は情緒障害の固定学級への就学が望ましい」との所見をいただくケースが散見されるということですが、そういう中で今後の特別支援教室キラリの取組の充実とともに、情緒障害固定学級への就学の対応の見通し、これはどうなっておりますかという質問でございます。

私からは以上でございます。よろしくお願いたします。

○小町教育長 五十嵐生涯学習推進センター長。

○五十嵐生涯学習推進センター長 私からは、門倉議員の一般質問につきまして、これに立川

市の中学生平和学習派遣事業、今後の展開ということでご提言をいただきました。これにつきましては今年度初めての取り組みでございましたので、この後の教育フォーラムの報告までを全て検証いたしまして、また今後の取り組み、どんなふうに進めていくべきかというところで検討してまいりたいと考えております。

○小町教育長 小瀬指導課長。

○小瀬指導課長 門倉議員からのご質問でございましたが、実は演劇表現によるコミュニケーション能力講座の実施とか、学級経営研修、学級力スタンダード、3点お答えさせていただきましたが、質問は中長期的解決策、言い換えると未然防止策としてはどういうものがあるかということでお答えさせていただいております。

それと、不登校の教育相談につながる子は人権に配慮しながらウェクスラー式知能検査を実施している現状がございます。ただ、不登校児童生徒に一律にとすることはなかなか無理なので、保護者の理解を得ながら行っているところです。

それから2点目でございますが、昨年度、学校復帰プログラムと個別指導計画、リニューアルいたしまして、それを活用までは、いま一つなので、そこを徹底を図りながらスクールソーシャルワーカー、学校経営支援主事、そして指導主事、チームをつくって対応してまいります。また教育長に相談をしながら組織体制を若干変えていこうかと、不登校、いじめ対策をさらにパワーアップさせていこうと考えているところでございます。

それからスマホのほうですが、現状ですが、毎年7月に調査、分析しています。そして9月、10月、11月を目途に家庭用の啓発リーフレットを出しているところですが、一番新しい、今年度行った調査結果では、所持率は小学生83%、中学生が91%という結果が出ております。家庭のルールをどのくらい守っているんだということで、家庭のルールは小学校が93%、中学校が75%、ちょっと多いと思っております。これ、家庭ルールを守っている、どちらかといえば守っている、という答えです。

ではSNS学校ルールはどうなのか。ご推察のとおり、小学校は55%、中学校は36%、ということかということ、家庭のルールはより緩やかであると言えるかなと思っております。現状としてはこのようになってございます。

先ほど申し上げたように、家庭用の啓発リーフレットですが、今考えておりますのが、ご提案いただいたように、1つは効果的な活用事例、もう1つは、危険とか健康を害する事例を載せていきたいなと考えています。ただ、活用事例のほうは気を付けてもっていきたいなと。例えば辞書を引く習慣、小学生が辞書を引く習慣というのは非常に重要でございますので、その辺の発達段階も考えながら考慮していきたいなと思っております。

○小町教育長 栗原教育部長。

○栗原教育部長 3点目の特別支援教室のことでございますが、キラリの取組の充実ということでございます。今年度、全ての小学校にキラリが開設をされたところでございます。また、要支援児童も年々増えているという状況がございます。そんな中で個々の児童に応じた教育ができるようにということで、きょう欠席をしておりますが川崎統括のほうで、各小学校を

まわってキラリの実態等を見ております。そういった中で改善すべき点はあると思いますので、そういったことで授業内容の改善を図ってまいります。

それと中学校につきましては、来年度、平成 31 年度から 33 年度にかけて小学校と同じように順次拡大をしていくということで、中学校につきましても特別支援教室の展開を図って、それによって充実が図られていくということです。

それと情緒障害の固定級でございますが、現在、第 2 次特別支援教育実施計画の期間でございますが、これが平成 31 年度までとなります。32 年度からは 3 次ということになりますが、2 次の計画の間に一定の方向性は見出ししていきたい、そういったことを考えているところでございます。

○小町教育長 田中委員。

○田中委員 今、3 人の方から、回答いただきましたが、本当に前向きに取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。ただお願いしたいのは、現状に甘んずることなく、より改善工夫しながら、より教育効果を発揮できるよう取り組んでいただきたいと、そういうことをお願い申し上げます。よろしく願いいたします。

○小町教育長 一般質問を受けまして、議会で様々なお答えをさせていただいた次第でございます。先ほど栗原教育部長が申し上げたとおり、やはり安全・安心に関するご質問が多いのかなと思っています。1 つは地震関連でブロック塀の話。老朽化絡みの中でのスラブ厚の話。それから猛暑の関係での空調機の話もありました。また昨今、台風が大変多くて、校庭の木が倒れたり、倉庫がひっくり返る、そういう意味でも災害の状況も学校に現れていてそこへの対応。

もう 1 つ、中学校の新しい共同調理場、中学校給食の話ですね。これも実は安全・安心のところから出発をして、子どもたちに安全・安心な給食を是非というところでそこに原点がある。こういったことを見渡してみると、ご質問いただいたこと含めて、お答えしたこと含めて、安全・安心、教育環境の整備というのが大きな取組で挙がってきたのかなと思っています。

これに対しては、やはり安全・安心は教育の原点であるということ、子どもたちが何より安心して学校に通っていただければ、学力向上、体力向上含めて、ないわけではございません、立川市民科の実践は地域とともに歩むという、そういう安心な学校でなければあり得ないことではございますけれども、まさにベースとなる様々なご質問をいただいたのかなと思います。これにはお答えしたとおり、一つ一つ計画的にしっかりと取り組んでいくというお答えをさせていただいた訳でございます。予算時期に入っておりますので、いただいたご質問を踏まえまして、予算に反映してしっかりと行いたいと思っておりますし、教育委員会でもご報告しながら努めてまいりたいと思っておりますのでございます。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。これで報告 (1) 平成 30 年第 3 回立川市議会定例会報告

について、の報告及び質疑を終了いたします。

◎報 告

(2) 平成30年度「立川市・大町市姉妹都市中学生サミット」の授業活用について

○小町教育長 続きまして、2 報告(2)平成 30 年度「立川市・大町市姉妹都市中学生サミット」の授業活用について、を議題といたします。

小瀬指導課長、説明をお願いします。

○小瀬指導課長 先日、立川市・大町市姉妹都市中学生サミットを観ましたけれども、肝心の子どもたちの英語の場면을観ていただけていないということと、この英語版プレゼンの場面、立川のいいところを探してそれを英語で、それを外国語活動もしくは英語科、授業で活用するということができよう、再度、加藤指導主事から説明をさせていただきます。

○加藤指導主事 テレビの画面を観ていただきながら説明させていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

それではこれから、第4回立川市・大町市姉妹都市中学生サミットの発表会の様子を動画でご覧いただきたいと思います。6 つの班が見学し見つけてきました立川の良さについて、英語で発表いたしました。

まずは1班です。このグループは、諏訪神社、ルミネ、グランデュオといった商業施設を見学しました。大町の中学生が旅行者になり、立川にやって来たという設定ですけれども、迷っているところに立川の中学生が駆けつけるというような形で発表をしております。それではご覧ください。

続きまして2班を観ていただきます。次のグループは、ファーレ立川、南極・北極科学館の見学をいたしました。ファーレ立川は展示物の写真を紹介しながら特徴等を説明していきます。また、南極・北極科学館につきましては展示物やそこで体験したことについて紹介をしております。それではご覧ください。

続きまして3班になります。次のグループは、IKEAとららぽーとを見学しました。大町の中学生が質問をして、そして立川の中学生が答えるという形で発表します。このグループは途中に参加者にクイズを出して盛り上げるというような工夫もしておりますので、是非ご覧ください。

続きまして4班になります。次のグループは、昭和記念公園の中にみどりの文化ゾーンというところがございます。そちらとブルーベリー農園を見学いたしました。外国人役の大町の中学生に立川の中学生が説明するという形で発表します。それぞれの場所でどんなことが楽しめるのかを伝えていきますので、ご覧ください。

続きまして5班ということで、次のグループは、防災館と昭和記念公園の見学をしました。大町の中学生の質問に立川の中学生が答え、さらにまた大町の中学生が感想を言うというような流れで進んでいきます。それぞれの場所の魅力について発表しておりますので、是非ご覧ください。

続きまして最後の6班になります。このグループは、普濟寺、山中坂、たまがわ・みらいパークを見学いたしました。立川の中学生と大町の中学生が会話形式で発表いたします。それぞれの場所の歴史、特徴等、身振り手振りを使って堂々と発表しておりましたので、こちらをご覧ください。

動画は以上ですけれども、限られた交流の時間でしたけれども互いに協力し合って、少し見にくかったかもしれませんがプレゼンも全て生徒たちが作成しました。ALTの助言を最大限に活用しながら英語の発表をすごく工夫する姿が見られました。今後この動画を市内の小中学校のほうに配布して、外国語の授業等で活用していただければと思っております。

以上で終わります。ありがとうございました。

○小町教育長 報告ありがとうございました。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえて、ご質疑をお願いいたします。

はい、松野委員。

○松野委員 大町、立川、お互いのよさをお互いに発見し合い、認め合っている、これはすごくいいですね。そしてまた発表の仕方にすごく工夫がありますね。クイズ形式でやったり、会話形式でやったり、方や質問者で方や報告をする。これを英語を使うって、すごく未来性というか、子どもたちのこれからの時代のうれしさというか期待感をすごく高めているのは、英語を決して我々と違って恐れていない、楽しくやっている。なおかつユーモアがあって笑いがあるんですね。これはやはりこれからの未来を託しているというか、未来を描いているようなそういう光景を目の当たりに観ました。これは是非この動画を各小中学校にも配布して、みんなのものにしてほしいですね。とてもいい発表だと思いました。ありがとうございました。

○小町教育長 ほか、ございますか。田中委員。

○田中委員 すごく感動いたしました。子どもたちの英語力。私事で恐縮ですが、数年前ですけれどもアメリカのカリフォルニア大学バークレー校、そこで研究した時間があつたんですね。その時を思い出しまして胸が熱くなりました。ここまで指導されて短期間でやられたことに敬意を表するとともに、できればマイテレビとかでお見せするとか。場合によってはこの生徒たちが一人も漏らさず2020年東京オリンピックのときに、おもてなしのボランティアとして工夫していただいて、是非力を発揮していただきたい、そんな思いでいっぱいです。うれしいですね。

本当に改めて教育の可能性の大きさを実感して感動しています。小町教育長をはじめ関係の皆さんに心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

○小町教育長 ほか、ございますか。伊藤委員。

○伊藤委員 すばらしかった、感動したということで、これからは是非続けていただいて、子どもたちの可能性はどんどん引き出していただければと思います。

○小町教育長 ほか、ございますか。佐伯委員。

○佐伯委員 ぜひ多くの子どもたちに観てもらいたいのですが、テキストとかにしてください

て、内容がよく分かるようにして楽しんでもらえればと思います。よろしくお願いします。

○小町教育長 では私からも。私はずうっと同行させていただきまして感じましたけれども、当初、英語はなかなか難しいという教諭の反応があったわけでございますけれども、チャレンジしようよ、ということでチャレンジして、ALT指導員を一人ずつつけるというこちら側のちゃんと準備をした中で、子どもたちは想像以上に力を発揮してくれたのかなと思ってます。子どもたちから私も学ばせていただいて、大人の場合はここまではできないと、ハードルを意外と設けてしまうのは大人のほうではないか、改めて子どもたちから教わりました。少し高めのハードルでも子どもたちが本当に学び合いの力で、一人の力もそうですけれども、グループの力でそれを堂々と乗り越え、こちらの思いをはるかに越えて。

プレゼンも実は指導主事が一生懸命フォーマットを作ってあったのですね。時間が間に合わないともずいと。そんなものは全然使わないで、子どもたちはプレゼンに、パワーポイントはもう鉛筆替わりなのですね。私横で見えていたらブラインドタッチなのです。文字をどんどん、どんどん打ち込んでいるのを見て、これはもう21世紀を子どもたちはしっかりと歩んでいけるのだなという思いを強くしたところでございます。

いろいろな学びを私もさせていただいて、大町の子どもたちが両市の交流の未来をまさに第1回で子どもたちが提言してくれたとおり、共有することができているのかなという思いでいっぱいでございます。今後とも教育委員会としましては、姉妹市交流ということを中心にしながら、子どもたちの教育の充実の一つのチャンスにしてみたいと思っております。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございますので、これで報告(2)平成30年度「立川市・大町市姉妹都市中学生サミット」の授業活用について、の報告及び質疑を終了いたします。

○小町教育長 次に、その他に入ります。

その他、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

◎閉会の辞

○小町教育長 次回の日程を確認いたします。次回、平成30年第20回立川市教育委員会定例会は平成30年10月25日木曜日、午後1時半から、101会議室で開催いたします。

これをもちまして、平成30年第19回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後3時10分

署名委員

.....

教育長